

平成28年度 第3回用瀬地域振興会議 議事概要

【開催日時】

平成28年7月20日（水）午後3時40分～午後5時10分

【開催場所】

用瀬地区保健センター 小会議室

【参加者】

出席委員 谷村萬吉、西川功美、平井育子、谷口芳幸、大家繁博、谷本由美子、西村繁榮、
亀谷幸子、福山裕正 以上9名（敬称略）

事務局 田中支所長、沖田副支所長、坂本産業建設課長、谷口市民福祉課長、
中村地域振興課課長補佐、金谷地域振興課主幹、

傍聴者 なし

【次第】

1. 開会
2. あいさつ
- 3 議題・報告事項

（1）総合支所整備（耐震化）の推進について

事務局（資料1により説明）

（会長）

案2のいきいき交流センターは建ててからどれぐらい経過しているか。また耐用年数はどれくらいか。

（事務局）

平成11年建築ですので築17年です。税法上の耐用年数は50年ですが、実際には適切な管理をすれば65年でも使用できるということです。

（会長）

合併特例債は合併の時しか使えないとのことですが、庁舎の新築は過疎債の対象にならないのか。

（事務局）

ならないです。

(会長)

では、この次に建て替えする場合は、全額市が負担しなければならないのか。

(事務局)

そうです。

(会長)

案1については、現在の利用状況を考えると、現庁舎は施設規模が大きすぎると思う。また、以前雨漏りがあったりしたが、今回の庁舎改修費にはそういった内容も含まれるのか。

(事務局)

この金額は個別の建物を見て積み上げたものではなく、耐震及び通常の改修をすればかかるであろう平均的な金額から試算したものですので、建物ごとの特殊な事情については考慮していないと思われます。

(委員1)

では、実際には経費が膨らむ可能性があるということですね。

(事務局)

可能性はあります。

(委員1)

市の実質負担を考えると、案1は検討の対象から外してもいいと思う。金額は高く、建物の耐用年数は短いからです。そうすると案2と案3で検討すればいいと思うのですが、単純にこの費用を基にした場合、いきいき交流センターは築後17年経過し残り50年で建替えということで検討しますと、案2のほうがかかる費用が案3よりも高くなると思う。

もう一つ、この地域振興会議は用瀬総合支所の耐震化についてどこまで発言できるのか。検討はするが、その結果がどこまで反映されるのか。

(事務局)

今回の整備は基本的には現庁舎の耐震改修か、他の公共施設等を活用して整備するかということで検討してきておりますので、今ある施設で対応できないのかということをも再度十分検討していただきたい。それでもないということであれば、新築が必要なのか本課を交えて再度検討する必要があると思います。この振興会議においては、現庁舎を耐震改修するのかそれとも他にある公共施設で支所に代わるものがないのかその結論を出していただく必要があると思います。ただその判断も、どういった理由であるか確認する必要があります。

(会長)

佐治については、当初隣の中央公民館の建物へ移転すると聞いていたが、やはり現庁舎ぐらのスペースが欲しいとの意見が出て、地域振興会議で現庁舎の耐震改修ということで集約されたように聞いている。

用瀬の場合、現庁舎を改修した場合は20年後にはまた建替えしなければならず、その時には市費を投入せねばならないことになるので、この案はかなり無理だと思う。

(委員 2)

新築で建替えるとしたら、現庁舎を壊して今の場所にまた建てるということになるのか。別の場所に建てるということは可能なのか。

(会長)

資料にもあるとおり、別の場所に建てる場合は用地取得費と造成費が別途いることになることである。現庁舎の敷地内であれば用地費はいらないと思う。

(委員 2)

用地費などがあるからと言って、現庁舎の場所に建替えるとしても、本当に今の場所が便利が良くて人が寄りやすい場所であるのかどうか。あそこに建替えることを地元の方々がどう思うかもあるが、経費のことばかり検討するのではなくて、高齢化が進み、保育園も移転するわけでいろいろな面から考えていかなければならないのではと思う。

(委員 4)

新築すると言っても、一般的に考えて用瀬町だけ用地買収費を予算化できる可能性はないと思う。そうなれば、現庁舎の敷地ということになるが、あそこは高い場所であるし、隣接する保育園も移転してしまう。これからだんだん高齢化が進んで、あの坂道を例えば雪の中登っていくというのはかなり厳しい。様々な手続きが必要になってどうしても支所に行かなければならないということになれば、あそこは不便だと思う。

(委員 2)

今でもタクシーを頼んでいく方がいるぐらいだ。

(委員 4)

そうなるにあそこの場所で新築というのはちょっと無理じゃないか。新築がいいのはわかるが、別の場所を用地買収が出来ないことが確定であれば案 3 も可能性としては難しいのではないか。

(事務局)

他の支所でも新築するところはほとんどないと思います。今ある他の公共施設に移れるところがないかという、とにかくその点で協議しておりますので、用瀬だけ新築ということであればなぜなのかといったことを十分議論する必要がありますし、本課との話も出てきます。

(委員 1)

その話が出来れば、別に新築してもいいのではないか。

(事務局)

整備に係る金額の比較も大きな問題です。税金を使って行くということも考えねばなりませんし、位置も含めて総合的に判断していただければと思います。将来的な人口ということも考える必要があるかもしれません。

(委員 1)

いきいき交流センターも交通の便はとていいと思うが、出入り口付近がカーブが近くてかなり危ないような気がしたが。仮に出口を変えらるとなると建物的に可能なのかということもある。

(事務局)

実際に移転が決まれば、実施設計ということで、例えば駐車場の位置などの検討など、細かい部分を検討していくことになると思います。

(委員 4)

カーブのところ危ないということであれば、例えば公用車駐車を壊して危なくないようにしていくなども考えられる。

(会長)

今の庁舎がある場所は確かに高いところにあり、冬などは坂道が大変ということもあるが、大村や社方面の方は車で来られる。問題は用瀬地区の方が坂を登ることがどうかということと、移転して平坦にはなるが少し遠くなるということはどう考えるのかという点も勘案をしなければいけないのではないかと。

(事務局)

交通の便については、今の循環線などについて、支所や他の公共施設等を通るようなコースを作ったりすることも今後考え行かなければならないと思います。

(委員 5)

保育所は結局どこになったのですか。

(会長)

別府地内ということで、具体的な場所はまだです。

(委員 5)

保育園が近くなるのであれば、いきいき交流センターに支所が移転となった場合、保護者にとっては活用しやすいと思う。ただ、園児の送り迎えの時など駐車場が混みあうのではという心配もある。施設が一カ所に固まりすぎるのはどうかということも思う。もし移転ということになれば駐車場の整備をしっかりといただければ、安心安全ではと思う。

(委員 4)

河原の第二庁舎にしても、佐治の現庁舎にしても古い建物だと思うが、それを改修するというのであれば、用瀬だけが新築ということは可能なのか。いきいき交流センターはあと50年使えるということだし、これからの人口や高齢化を考えたら50年先までは予想がつかないと思う。

(委員 6)

他に活用できる施設がないか検討するのであれば急いで探さないといけないのではないかと。そろそろ住民説明を始める時期になるのであれば、もっと詳しい資料で説明しなければいけないのではないかと。

(事務局)

他の支所においても、内容的には今、お示ししている程度の資料で進めております。整備方針が決まれば、今日の本庁舎のような具体的な資料が作れるのですが、現時点では地域振興会

議の方針を出していただき、各地域に説明に行く場合にも、同じような資料により説明することになると思います。

(委員 1)

最終的にどれぐらいの費用が必要かということが示されないと、比較が出来ないと思う。

(事務局)

現時点の調査結果によって資料を作成することはできますが、そもそもこの調査で積算している経費の単価は全国平均で出ているものを使っているのも、より具体的なものを出しても、最終的には変わる可能性というのがあります。今の段階で具体的な設計をして積算するという事は難しいです。

(委員 6)

もう少しちゃんと比較できるような、わかりやすい資料を作ってもらわないといけない。

(事務局)

今ある資料を使って、もう少しわかりやすく、最終的にどれぐらいの金額がいるということを示せる資料にしてほしいということですね。

(委員 7)

金額的なものもあると思いますが、佐治は現庁舎を改修されるし、河原は現庁舎の横にある建物を使うということで町民として違和感はないと思う。はっきり言っていきいき交流センターに市の施設が来るということは、なんだか町民としてはがっかりというか、個人的には晴れ晴れしくないというか、さみしい気がするとか、将来の展望がない夢がない移転先だなどという気がする。もしいきいき交流センターに移転するのであれば、それがマイナスにならないような、ここに決めた理由を筋建てで説明しないと。現庁舎のような大きな建物から、築後17年もたったようないきいき交流センターの建物に移るといことが、町民感情としては面白くないのではないかなというように、その辺の感情的なものを大切にして説明してほしいと思う。ここでそういうことが決まるのであれば、他町と違ってしこりが残るのではと思われる。

(委員 8)

今日の説明で行くと、案1よりも案3のほうが市の負担額は少ないのであれば、案3の新築のほうがいいじゃないと思う。現庁舎の敷地で新築するのがいいんじゃないか。山だけど、すぐに崩れるというものじゃないし、今の場所に庁舎がある方がすごく威厳があると思う。なぜ案1のほうがあんなに高くなるのか。

(事務局)

今回の試算は整備してから20年間の費用として維持管理費も含めて比較しております。現庁舎は設備も古いのでどうしても維持管理費が高くなります。新築の場合は最新の設備での整備が可能になると思うので、維持管理費が安く抑えられるのではと思います。

(委員 4)

比べるのであれば案2と案3を比較検討しないとけないのでは。

(会長)

だいぶ皆さんの熱が入っておりますが、皆さんが代表者ですので住民の立場で考えていただ

ければと思う。市のから3つの案について比較案が出ているということは新築について検討しないわけではないと思う。今日で決めるわけではないが、住民説明は10月ごろから行うのか？

(事務局)

当初の予定ではそうですが、この会議で方針をまとめてから説明出なのか、並行して進めていくのかということも検討していただければと思います。

(会長)

私が心配するのは、とりあえず地域振興会議が方針を出す場合、住民の意識というものを十分意識していただいて検討していただき、住民意識とかい離しないようにしなければという点です。その意味で、庁舎というのは町のシンボル、頭脳だと思う。とりあえず空いている施設があるからというだけ考えではいけないので、案が3つ出ているの中で慎重に検討しているところです。

(委員8)

初めに市の方針として公共施設の数を減らしていくということを聞いている。用瀬は地域にあった整備方法を考えればいいと思うが、鳥取市全体として公共施設を減らしたいという考えがあるのだから、それを考慮して考えないといけないと思う。ただ河原は移転で1つ減るが佐治は現庁舎を改修するので施設は減らないことになる。市庁舎が一番大事な建物、看板であるので、用瀬も減らなくてもいいのであれば、規模をコンパクトにして新しい施設を建てたほうが地域の人からすればいいと思う。

(事務局)

昨年からの経過を考えると、現庁舎を耐震改修するか他の公共施設を利用して整備するかということで、候補として保健センターやいきいき交流センターを挙げて検討しているところです。庁舎の施設としていきいき交流センターはふさわしくないという意見があったと思います。確かに新築したほうがいいとは思いますが、人口の推移は減少傾向でありそのことも考慮せねばなりませんし、税金を使うということですので慎重に考えねばなりません。今の段階では何とか今ある他の施設を活用しながら整備して、これから先の人口動向などの状況を踏まえ、次の整備の段階で考えていくことが必要ではないかと考えます。

そうした中で、皆さんの意見ではいきいき交流センターでは市庁舎の移転先として物足りないということですか。

(委員1)

そう思いました。皆さんの意見を聞いて。

(事務局)

その理由はふさわしくないということですか。

(委員1)

委員7の意見を聞いて、そういう理由が一番じゃないかなと思いました。

(事務局)

その理由では、どの支所でも当然新築のほうがいいということになるのではないかと思います。

(委員5)

最近色々な話をしている、これ以上建物を増やさなくてもいいのというのが私たちとして思うところである。私は町外から来た者なので歴史も知らないし、暮らしているのも浅いからかもしれませんが、昔から住んでいる方から比べると、現庁舎への思い入れも少ないのではないかと思いますので、いきいき交流センターを実際に見てみて、別に悪くないと思いました。この小さい用瀬町には妥当な規模だと思います。これから背負っていくのは私たちや子どもたちの世代なので、贅沢はして欲しくないというのが本当の気持ちです。

(会長)

新築であれば2階建てを計画すると思うのですが、いきいき交流センターは3階まで使えば規模的にはいいかもしれないが、実際には3階なんて利用価値はない。2階まででは面積的に少ない。これからは3階建というのはいけないと思う。

(委員3)

費用がいくらかかるのか、ハッキリ示していただかないと。今の意見でもあった子どもや孫に借金遺すなということです。最後は市の幹部が決めるのかもしれないが、そこが出ないと決められないと思う。新築のほうが費用負担が少ないのであれば2階建てにして使いやすくしたほうがいいに決まっている。現庁舎敷地という市の土地があるのだから。いきいき交流センターをちゃんと直して新築よりも大分安いのであれば、移転にしようということで振興会議としては結論は出ると思う。この金額がどんなものかをわからないと決められない。

(会長)

今日改めて整備に係る負担額の話をしていただいた。そこでいきいき交流センターを改修した場合の耐用年数、それが老朽化して改めて建てなおすときには全額市民の負担ということにいなるとすることも考えながら進めていかないといけないと思う。

委員の皆さんには住民の方々に話をさせていただいて意見を聞きながら進めていただきたいと思います。この項目についてはこのあたりで終わらせていただく。

4 地域振興への意見・提言（委員発表）

時間の都合上、次回へ繰り延べ

5 各課報告

事務局（資料などで説明）

市民福祉課 用瀬地域保育園整備スケジュールについて説明

産業建設課 ツキノワグマの被害に逢わないためについて説明

地域振興課 用瀬町内における地域おこし活性化事業の取り組みについて説明

(委員5) 猿の対策についても教えていただければと思う。

(会長) 猿と猿の対策について、部落長会で資料を提供して欲しい。

6 次回日程について

開催予定日 8月30日(水) 13時30分
会場については、後日調整

7 閉 会